

(2) 郡上市住民自治基本条例の周知について

■これまでのふりかえり

年度	意見	実施内容
H27	- 各会議で住民自治基本条例に基づいた開催がされていることを周知してはどうか	
H28	- 地域協議会や公民館で説明してはどうか - 広報で特集したらどうか - 中学生にもわかるパンフレットを作成したらどうか - Good 郡上プロジェクトのテーマを「条例の周知」としたらどうか - かるたをつくったらどうか - ケーブルテレビでクイズ、郡上市検定のような番組を流して周知できないか - 講演会で今井先生に話してもらいたい	- 地域協議会や公民館の会議で条例の説明実施
H29		- 市民協働センター地域づくり講演会にて今井先生講演 - 中学生にもわかるパンフレット作成
H30		- パンフレット全戸配布 - NPO・市民活動団体・ボランティア団体への配布 - 中高生へ配布（現在も中 3 公民の授業で活用依頼） - 市のホームページに掲載
R1	- 公募、傍聴が少ない件について ・周知に SNS を活用したらどうか ・地域協議会を動画記録、公開したらどうか ・審議会等の会議を広報で紹介したらどうか	
R2	- 会議をオンラインで公開してはどうか - 自分たち委員が日常の中で周りに伝えていくことが重要 - マンガにして読んでもらったらどうか	- 自治会長会、地域協議会の会議でパンフレットを配布、説明実施

	- 標語を募集して家等に貼ってもらうようにしたらどうか - 動画を作るとどうか - 事例集を作るのはどうか - 広報の一面で、ある会議についてわかりやすい説明をするのはどうか	
R3	- 広報やケーブルテレビで特集したらどうか - HP の開催告知をもっと具体的にしたらどうか - YouTube で会議公開したらどうか - 郡上市アプリを活用できないか - HP の要録公開時に会議での資料を添付したらどうか	
R4		- オンライン公聴会試行実施
R5	- 試行オンライン公聴会の検証 ・規制をかけても管理が困難である ・公開 ID やパスワードも漏えいしてしまう可能性あり ・委員が言葉を選んだ発言となる可能性がある ・委員の顔がアップされることで、委員選任時に難色を示す可能性がある ・公開、編集に関する技術的な問題がある ⇒オンラインは現状課題が多いため、開催周知と要録の公開を徹底することを重視していく方向とする - 今後も興味をもってもらうための PR の仕方などは検討する必要がある。 - これまで行ってきた検証を整理することが必要である。	